

令和6年度 第2次募集 選抜・評価方法

学校番号 38

千葉県立国分高等学校 全日制の課程 普通科

1 選抜資料

(1) 調査書	中学校の校長から送付された調査書
(2) 面接	受検者1名・評価者3名の個人面接 検査時間：1名5分
(3) 作文	字数：400字以上600字以内 検査時間：50分

2 評価項目及び評価基準

(1) 調査書〔165点満点〕

アの数値に、ウについて加点（上限30点）したものを調査書の得点とする。

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	各教科の評定の全学年の合計値に $K=1$ を乗じた数値で評価する。評定1または未評価の教科がある場合は、審議の対象とする。
イ 出欠の記録	3年間で合計30日以上欠席がある場合は、審議の対象とする。
ウ 特別活動の記録、部活動の記録及び特記事項	学級活動、生徒会活動、学校行事、部活動、その他活動で特に積極的に取り組んだと認められる記述については加点（上限30点）する。
エ 総合所見	特に優れた内容と認められる記載がある場合は、総合的に判定する際の参考とする。

(2) 面接〔30点満点〕

3名の評価者が、次の2つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、a（優れている）・b（標準的である）・c（問題がある）の3段階で評価する。

aを5点、bを3点、cを1点とし、3名の評価者の評価（各10点満点）を合計し、得点化する。評価cが2つ以上ある場合は、審議の対象とする。

評価項目	評価基準
ア 志望動機及び適切な応答	志望の動機が明確である。 質問事項をよく理解し、適切に答えられている。
イ 高校生活への意欲	学習活動に意欲的に取り組もうとしている。 部活動や特別活動に意欲的に取り組もうとしている。

(3) 各高等学校において別に定める検査（作文）〔30点満点〕

2名の評価者が、次の3つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、a（優れている）・b（標準的である）・c（問題がある）の3段階で評価する。

aを5点、bを3点、cを1点とし、2名の評価者の評価（各15点満点）を合計し、得点化する。評価cが2つ以上ある場合は、審議の対象とする。

評価項目	評価基準
ア 字数	指定された字数に対して過不足がない。
イ 全体構成	全体としてのまとまりがある。
ウ 内容・文章表現	与えられたテーマに対して内容が適切である。 誤字や脱字がない。文法を正しく用いている。

3 選抜方法

(1) 選抜の方法

「調査書の得点」、「面接の得点」及び「各高等学校において別に定める検査の得点」を全て合計した「総得点」により順位をつけ、選抜のための資料を慎重に審議しながら、第2次募集の募集人員までを入学許可候補者とする。

〈総得点の満点の内訳〉

調査書の得点		面接の得点	各高等学校において別に定める検査の得点	総得点
評定	加点			
135点	30点	30点	30点	225点

(2) その他

ア 自己申告書が提出された場合には、選抜資料に加える。ただし、提出されたことにより、不利益な取扱いはしない。

イ 入学許可候補者とした者のうち、隣接県公立高等学校入学志願者取扱協定による入学許可候補者数が、細部協定書の示す制限比率を超えていないことを確認する。